



各 位

2024年5月13日

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 昌利
(コード番号 6834 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 齋藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

2024年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年11月10日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値と実績値との差異について

2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,350	680	850	470	51.52
実績値 (B)	15,785	1,052	1,269	761	83.42
増減額 (B-A)	△565	372	419	291	
増減率 (%)	△3.5	54.7	49.3	61.9	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	16,282	1,390	1,606	1,082	118.64

2. 連結業績予想値と実績値との差異の理由

2024年3月期の連結売上高は、2023年11月10日に修正した業績予想値から565百万円下回る結果となりました。精機関連では、電気自動車向けのインバーター用部品の試作金型等の売上高が想定を上回りました。一方、日系自動車メーカーの中国販売が伸びず、車載用成形品の売上高は想定を下回ることとなりました。光製品関連では、年度後半に向けて光通信インフラ向けの投資が回復に向かうと見込んでおりましたが、依然として市場の停滞が続きました。その結果、光通信用部品の売上高が想定を下回ることとなりました。

損益面では、車載用成形品の一部の販売価格を値上げしたことや、比較的収益性の高い試作金型の売上高が想定を上回ったことで粗利率を良化させることができました。さらに、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は372百万円、経常利益は419百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は291百万円、それぞれ前回発表予想を上回ることとなりました。

以 上